



本年、日本とコスタリカの外交関係樹立90周年に当たる「日・中米交流年」を迎えるに際し、日本国政府及び日本国民を代表し、心からお喜び申し上げますとともに、コスタリカ政府及び国民の皆様様の両国関係の緊密化に向けた尽力に改めて感謝の意を表します。

日本とコスタリカは、長きにわたり政治、経済、文化など幅広い分野で交流を深めてきました。自然豊かで多様な生物を有し、環境問題に積極的に取り組むコスタリカとの間で、日本も再生可能エネルギー等の分野で協力を行ってきました。また、軍を持たない平和主義国家として、核軍縮にも積極的に取り組むコスタリカから、昨年、ブルネル第一副大統領一行が訪日され、広島平和記念式典に参列するとともに平和への祈りをささげていただいたことに感謝申し上げます。

コスタリカは価値と原則を共有する日本の重要なパートナーであり、この機会に両国の協力関係を強化し、国際場裏での様々な課題に共に取り組んでいきたいと考えています。また、昨年コスタリカのCPTPP加盟交渉開始が決定したことを歓迎し、自由で公正な経済秩序の維持に共に邁進したいと考えています。

昨年5月、日本は新たな中南米政策スピーチの中で、国際社会が直面している挑戦、そして人類共通の課題に対し、日本と中南米が互いを尊重し合い、学び合い、対話を通じて解決策を共創していく方針を掲げました。日・コスタリカ外交関係樹立90周年に当たる「日・中米交流年」を通じて、この対話を推し進め、日本とコスタリカ、そして中米統合機構（SICA）加盟諸国との協力を新たな段階へと押し上げていく考えです。この目標の実現は政府間のみで成し得るものではなく、国民の皆様様の幅広い参画をお願いしたいと思います。

両国政府と両国民の友好・協力関係の更なる発展を祈念し、お祝いの言葉いたします。

令和7年（2025年）2月
日本国内閣総理大臣
石破 茂